

## 平成 22 年度「食と農林水産業の地域ブランド協議会」 総会報告

### ■上原会長ご挨拶

(上原) ただいまご紹介預かりました上原です。よろしくお願いします。

ご挨拶として、ここで少しブランドについて展望を述べたいと思います。

世界で地域ブランドという場合は、ほとんど地域発の世界ブランドを指します。ですから、ブランドというのは何か名前をつけて売ることだけではありません。この中から世界ブランドが生まれていくことを願っております。そういう協議会として発達していくことを願って、簡単ですが、私のご挨拶にします。



食と農林水産産業の地域ブランド協議会 上原会長

### ■農林水産省大臣官房審議官雨宮宏司氏 ご挨拶

(雨宮) ご紹介いただきました農林省水産局担当審議官の雨宮でございます。協議会の総会・シンポジウムの開催に当たりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本日お集まりの皆様におかれましては、日ごろ、それぞれの立場で何かと農林水産行政にご理解、ご協力をいただいておりますことに、まずもって御礼を申し上げます。

このブランド協議会は現場の取り組みと、それを支援する関係者の集まりでございます。真に力のある地域ブランド、会長のほうから世界ブランドというお話もありましたが、そういうブランド品を育て上げるために情報交換、交流を行う場として設立をされてございます。

農業、農村をめぐる事情、ご案内のように非常に苦しいものがございます。最近 15 年間の農業所得、総額で見ても半減していたり、担い手の高齢化という問題もございます。この食と農業の再生を図っていくということを今、政策の柱として手がけております。昨年 3 月の基本計画の中でも、農家の、まずは経営安定を図っていくということで、この 4 月から戸別所得保障制度の本格実施をすることにしております。

もう 1 つの柱が消費者と食との信頼関係を、生産現場との信頼関係をより強固なものにしていくということで、食の安全や品質の向上を図っていくということでございます。

3 番目が、やはり、農村地帯の所得を、付加価値を高めていくということが重要だとい

うことで、6次化というものを進めていこうとしているところでございます。6次化につきましては昨年12月に国会のほうで法律をご採決いただきまして、この3月1日には施行という運びになってございます。具体的に各地域での玉を磨いていこうとなっているところでございますが、その際の大きなツールの1つがこの地域ブランド化というものではないかなと思っております。

現在、いろいろな芽が出ておりますので、そういうものに対して農林水産省としても積極的な支援をしていきたいと思っております。

一口にブランド化と申しましても、この後の講演やパネルディスカッションでもいろいろとお話をいただけたらと思いますけれども、支援条件、地域の歴史、あるいは生産体制、それを販売していく体制や戦略、そしてブランドをどういうふうに管理していくかということで、いろいろなハードルがあるかと思っております。

そういうようなハードルを1つでも乗り越えていくための一助にこのシンポジウムがなればありがたいなと思っております。



農林水産省大臣官房審議官 雨宮宏司氏

会員の皆様方におかれましては、ここでの交流、あるいは講演会、パネルディスカッションを通じて、1つでも多くの成果を地元を持っていただかしまして、地域の振興、活性化につなげていただければと思うところでございます。

結びに本日の総会、並びにシンポジウムが成功裏に終わりますことを祈念いたしまして、一言ご挨拶をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。